

科目名	教育の科学(イノベートな人作り)
担当者	武田修三郎
配当学期	後期
単位	2単位
授業概要	ガラパゴス症候群の原因は世界には新たな知性のなかにあるのに、日本が依然として古い知性の中にあることからくる。この中ではイノベートな人たちはでない。現下の状況からの脱出は、浅薄な経済、技術の発展にあるのではなく、深い、洞察力を持ち、コネクテッド、サステイナブルな心を有した人財作りであり、これは唯一教育により達することができる。ただ、現下のものは知識、スキルの刷り込みが主の古いもので、消えゆく側の人材は作れても、新たなパラダイムの中で活躍する人財はできない。ここでは、世界で既に起きた未来と、それを導くエコシステムを例にとり、その一端を考える。なお、これらの教育のものは浅薄な科学や経験ではなく、20世紀に発展した心の科学をもとに行うものである。
授業の到達目標	教育は単に学校でだけでなく全ての組織で行うものである。本質を身につけそれらの組織で着手できる人たちを作る。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> (1) フロニーモス(イノベートな人)とは (2) フロニーモス(イノベートな人)を育む (3) 心と物の法則の違い (4) 知の再定義 (5) 知を育む科学、イノベーションの科学 (6) 知を育む環境、エコシステムの科学 (7) 学と学際 (8) 超学際(トランス・ディスプリナリー) (9) 教育の再定義 (10) メタ認知へ (11) メタ知性へ (12) 教育とクオリア (13) 徳とイノベーション (14) 徳を育む教育 (15) 再びフロニーモスとは
教科書	時々の項目で資料並びにテキストを提示。
参考文献	デミングの組織論、東洋経済新報社、武田修三郎 フロニーモスたち、宣伝会議、武田修三郎
成績評価方法	出席 30%、対話(各界の人との対話も含む) 40%、レポート 30%
関連 URL	多数あり時々で指定
備考	これらのコアは前期のクオリアの科学